

牛群検定の試行（お試し検定）参加募集中！

本年度も牛群検定を無料で体験できる牛群検定の試行（通称「お試し検定」）を実施いたします。牛群検定にかかる諸経費を、最大6ヶ月間、家畜改良事業団がサポートするというお得な事業です。お知り合いの検定未加入の酪農家に「今がチャンス！」とお伝え下さい。

牛群検定を始めれば、自宅のパソコンや携帯電話で検定データを活用できる繁殖台帳Webシステムも利用できます。

また、あわせて乳量計レンタルを行っています。機種はツルーテスト社製になりますが、長期間にわたるレンタルも可能です。

牛群検定の試行、乳量計レンタル、繁殖台帳Webシステム について詳しくは、
当団ホームページ <http://liaj.lin.gr.jp/> または **家畜改良事業団 検索**

牛群検定の利活用などについて解説記事を掲載しています

1 配合飼料を再考する なぜ高まる配合依存度
デーリイマン7月号

最近の濃厚飼料給与の実態を牛群検定データから解説しています

2 次世代診断関連の解説

開拓情報6月号、畜産会経営情報6月号、デーリイマン7月号、
広島らくのうだより6月号

以上4誌に牛群検定の新しい情報である次世代診断を解説しています。

3 北海道佐呂間町における繁殖台帳Webシステムの有効活用に向けて
オホーツク農業共済組合佐呂間家畜診療所 内山亜記氏著

LIAJニュース（家畜改良事業団）No.134 平成24年5月号

繁殖台帳Webシステムを家畜人工授精の立場から有効利用した好事例です。佐呂間町では家畜診療所と牛群検定組合が一体となった繁殖改善の取組を行っています。

4 新しい検定成績表について（その20）—授精結果による次世代診断—
LIAJニュース（家畜改良事業団）」同上

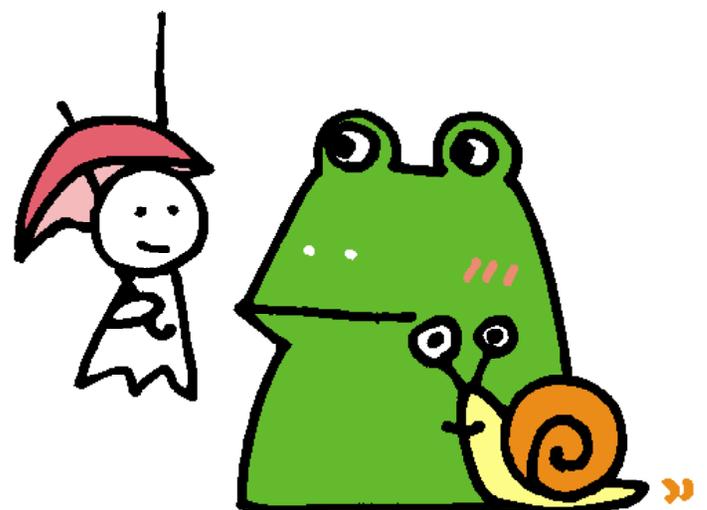
今回は、検定成績表裏面に掲載している次世代診断情報を詳しく解説しております。入手については、最寄りの種雄牛センターまたは事業所にお問い合わせいただければ、無料でお送りします。バックナンバーは、以下の当団ホームページをご参照下さい。

<http://liaj.lin.gr.jp/japanese/kentei/kentei.html>

牛群検定情報 検索

梅雨どきの牛舎の湿気にご用心！

ジメジメした日が続く今日この頃です。梅雨時は、人間には涼しいと感じるときもありますが、約22度で乳量が低下する乳牛にはやはり高湿度高気温です。従いまして、梅雨時であっても暑熱対策は欠かせません。しかし、梅雨時の暑熱対策では、水を使ったものは要注意です。例えば、梅雨の合間の晴天であっても、屋根への散水は排水がしっかりしていないと、かえってジメジメして乳牛を不快にしてしまう場合があります。また、細霧（ミスト）の使用も注意しないと、同様に乳牛を不快にしてしまいます。梅雨時は、涼しく感じるときであっても、送風により牛舎内を乾燥させることが重要です。



次世代診断情報(総合診断)の紹介

今回は次世代診断(総合診断)を紹介します。この情報は現在のあなたの牛群の改良方向がどのようにすすんでいるか、例えば泌乳能力と体型などがバランス良い改良方向となっているかどうかなどをいち早く分析してお示しするものです。別途配布している「授精結果による次世代診断」とあわせて、レベルの高い後継牛生産にお役立てください。

概要

次世代診断情報(総合診断)は4半期に一度、改良情報の発行に併せて発行します。処理日時点での人工授精の結果が受胎したかどうかは問わずに、生まれてくる産子が全て雌であると仮定して、当該産子や牛群内の未経産牛の予測される遺伝情報により、改良の方向性をいろいろなグラフにより示します。

次世代診断

泌乳形質と体型形質および体細胞スコア等の改良方向をグラフ化しました。楕円は標準偏差(バラツキ)を示し、牛群の約40%が楕円の中に入ります。楕円の長径は回帰直線を示します。いずれの場合も点線の楕円が現世代で、実線の楕円が次世代です。矢印の方向が右上を示し次世代の楕円が小さくなれば、バランス良く改良が進み、斉一性に富んだ牛群に改良が進んでいると言えます。

①泌乳能力と体型の改良方向

体型審査を受診しなければグラフに表示されません。多くの場合が牛群の一部の牛の体型審査でのグラフなので注意が必要です。このグラフでいう体型は耐久成分として乳器と肢蹄を遺伝評価したものです。もし、矢印があまりに直立すれば、体型を重視し過ぎて泌乳能力の改良が進んでいないことを意味します。矢印は見本のように右斜め上を示すのが良い改良方向です。

②泌乳能力と体細胞数の改良方向

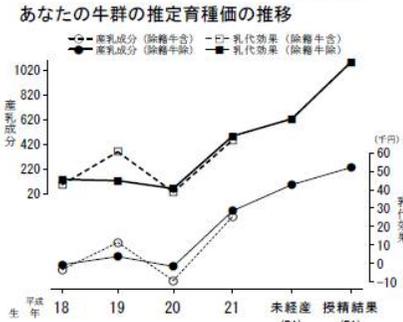
体細胞数は遺伝率が0.082と低いため遺伝的改良が難しい形質ですが、できるだけ矢印を上向かせて改良することが望めます。体細胞数の改善には遺伝的改良だけでなく、検定成績表を利用した飼養管理の改善をあわせて行う必要があります。

③乳量と乳脂率の改良方向

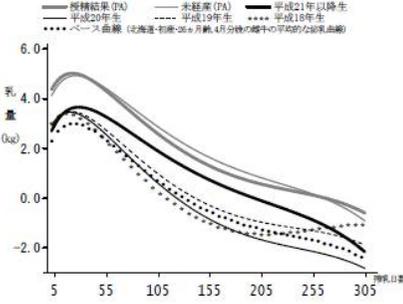
乳量と乳脂率には、一般に負の相関があり、右下がりの楕円が描かれることが多いようです。乳量のみならず、乳脂率を下げない改良が必要です。

見本

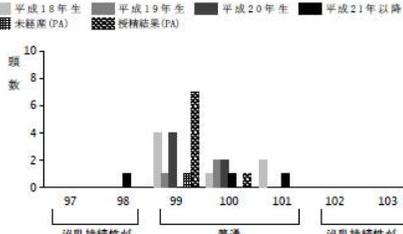
次世代診断情報(総合診断)(2011-11月)



生年別遺伝能力曲線(除籍牛除)



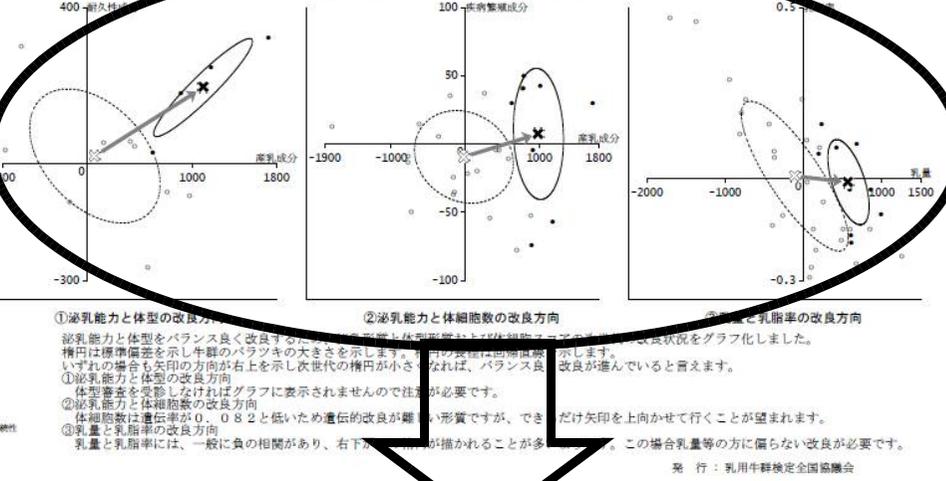
生年別泌乳持続性頭数(除籍牛除)



あなたの牛群の推定育種値の推移 (上段:除籍牛を含む平均値 下段:除籍牛を含まない平均値)

除籍牛	頭数	乳量	乳脂率	体細胞数	体細胞スコア	泌乳持続性	耐久成分	体細胞スコア	泌乳持続性	耐久成分
平成16年	11	-378	-13	+0.03	-4	+0.09	-24	+0.12	2.33	
平成17年	4	-458	-14	+0.08	-3	+0.14	-25	+0.19	2.23	
平成18年	9	-42	-3	-0.01	+3	+0.06	-1	+0.03	2.44	
平成19年	7	+14	-4	-0.04	+5	+0.06	+1	+0.01	2.43	
平成20年	4	+147	-3	-0.10	+11	+0.07	+20	+0.08	2.47	
平成21年	3	+108	-13	-0.18	+7	+0.04	+14	+0.05	2.60	
授精結果(PA)	8	+573	+23	+0.01	+24	+0.01	+59	+0.09	2.33	

あなたの牛群の次世代診断



あなたの牛群の次世代診断

